

平成 26 年度胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

平成 27 年 7 月
北海道胆振総合振興局

【概要】

平成 26 年度の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は、前年度（606,055 人）と比べて 174,518 人増加し、780,573 人（前年度比 128.8%）となりました。

訪日外国人宿泊者数の発表を開始した平成 10 年度以降で、人数、前年度比共に最高となった平成 25 年度の値を更新しています。

（上期）

上期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は 337,806 人で、前年度同期（294,150 人）と比べて 43,656 人の増加（前年度同期比 114.8%）となりました。

（下期）

下期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は 442,767 人で、前年度同期（311,905 人）と比べて 130,862 人の増加（前年度同期比 142.0%）となりました。

これは、円安の拡大や、免税制度の拡張によるものと考えられます。特に中国人観光客の宿泊者延べ数が大きく伸びており、これは前述の要因に加え、平成 27 年 1 月のビザ要件の緩和が影響しているものと思われま

【圏域・国別の状況】

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、台湾が 319,742 人で最も多く、訪日外国人宿泊者数（延べ数）の 41.0%を占めています。次いで中国（170,256 人）、韓国（108,032 人）、香港（60,159 人）、タイ（42,532 人）となっています。

平成 25 年度調査と同様に、上位 5 か国はすべてアジア圏の国で占められており、その他シンガポール（31,003 人）、マレーシア（20,324 人）、インドネシア（5,128 人）、フィリピン（1,470 人）ベトナム（356 人）、インド（92 人）を含めたアジアからの観光客が、訪日外国人宿泊者数（延べ数）全体のおよそ 97%を占めています。

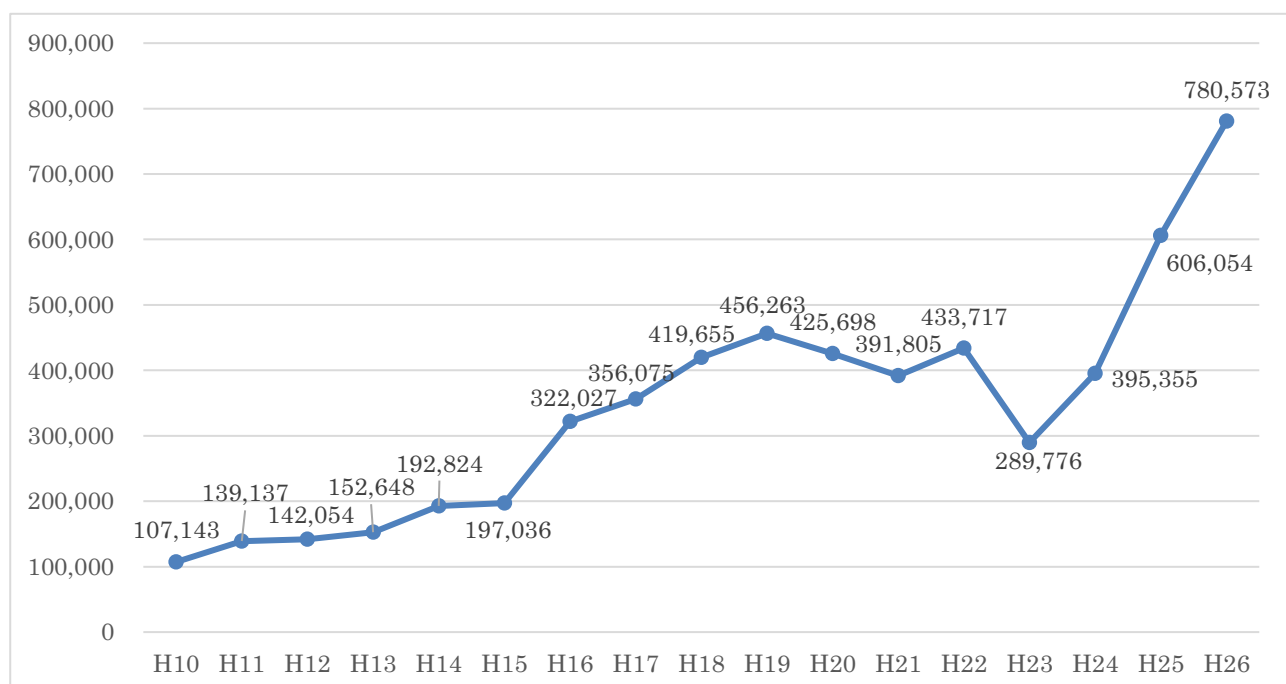
【参考 1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳

（単位：人、％）

順位	国名	平成26年度宿泊者数(延べ数)		対前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
1	台湾	319,742	41.0	112.3	35,097
2	中国	170,256	21.8	203.3	86,507
3	韓国	108,032	13.8	138.6	30,099
4	香港	60,159	7.7	109.5	5,218
5	タイ	42,532	5.4	116.9	6,161
	その他	79,852	10.3	116.7	11,436
	合計	780,573	100.0	128.8	174,518

【参考 2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10 年度～）

（単位：人）



【参考 3】胆振管内訪日外国人宿泊延べ数 国別の推移

（単位：人）

